

CASBEE[®]-不動産【物流施設】評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-不動産【物流施設】(2021年SDGs対応版) v1.2.2

建物概要

建物名称	LOGILAND春日部Ⅲ	敷地面積	7,070	m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	埼玉県春日部市	建築面積	4,021	m ²	評価の実施日	2024年12月12日
用途地域	地域指定外、防火指定外	延床面積	10951.59	m ²	作成者	米田 拓朗
建物用途	物流施設	階数	地上3F		不動産評価員番号	ふ-001471-29
竣工年月	2023年7月25日	構造	S造		確認日	2025年1月8日
直近の大規模改修実施年月	—	平均居住人員		人	確認者	米田 拓朗
		年間使用時間		時間/年	不動産評価員番号	ふ-001471-29

評価結果

67.6

/100

合計

(得点 / 満点)

★★★★★

★★★★★

★★★★★

★★★★★

★★★★★

S ランク:★★★★★
A ランク:★★★★★
B+ランク:★★★★
B ランク:★★★★

≧78
≧66
≧60
≧50

ポイントは小数点第1位までの表示とする

1. エネルギー／温暖化ガス

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制		
	加点 1	実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	一次エネルギー(目標値)	MJ/m ² ・年
20.0	20	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)	MJ/m ² ・年
		BEIm = 0.46	二次エネルギー(*)	kWh/m ² ・年
			CO ₂ 排出量(*)	kg-CO ₂ /m ² ・年
1.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	水道光熱費	円/m ² ・年
4.0	5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	導入された対策項目数	4.0 項目
		省エネ計算対象外の倉庫エリア等		
3.0	5	1.4 自然エネルギー	利用率	0.0 %
		導入なし		
28.0	35	合計		

2. 水

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		目標設定、モニタリング、運用管理体制		
	0	水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定	水使用量(目標値)	L/m ² ・年
6.0	10	2.1 水使用量(計算値)		
		評価しない		
		2.2 水使用量(仕様評価)		
		1)、2)	水使用量(計画値)	L/m ² ・年
	0	2.3 水使用量(実績値)		
		評価しない		
6.0	10	合計		

3. 資源利用／安全

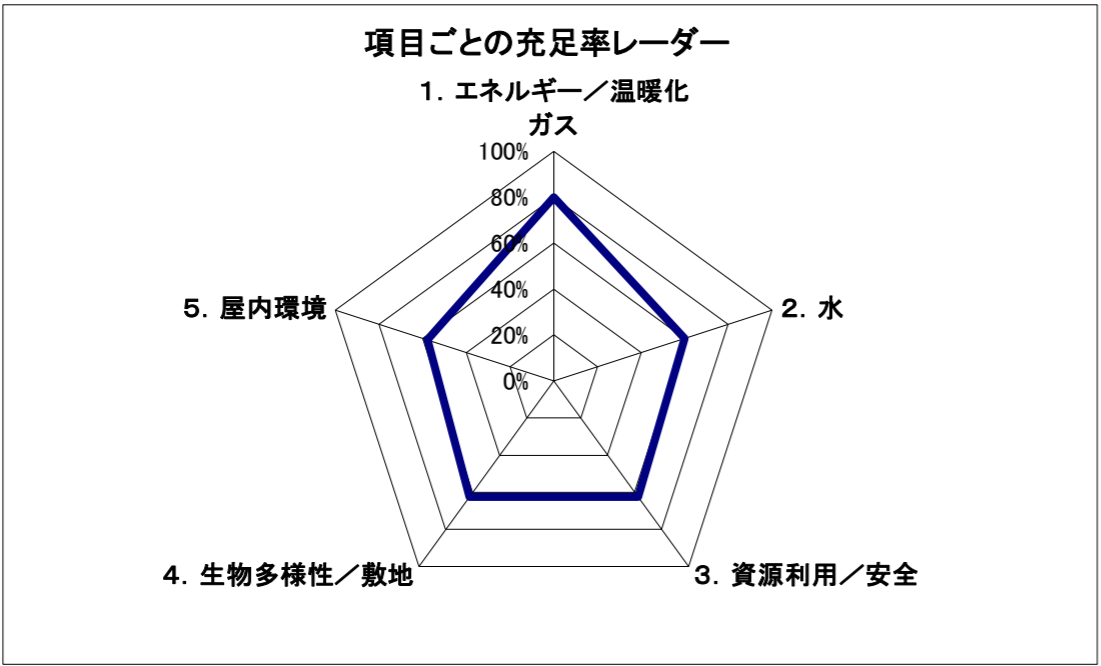
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		新耐震基準への適合またはIs値、If値		
	5	3.1 高耐震・免震等		
3.0		3.1.1 耐震性		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能		
		導入なし		
3.5	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する	
3.0		① 躯体材料		
4.0		② 非構造材料	リサイクル材品目数(非構造材)	2 品目
		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制		
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数		
		3.3.1 躯体材料の耐用年数	経過年数＋今後の想定耐用年数	
3.0	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均	
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔		
		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上	更新年数の平均値	21 年
3.0		3.4.3 維持管理	自給率向上の取組数	2 項目
2.0		3.4.4 バリアフリー対策	維持管理に関する取組数	3 ポイント
3.0				
12.5	20	合計		

4. 生物多様性／敷地

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない		
	10	4.1 生物多様性の向上		
6.0		4.1.1 生物多様性の向上	②取組表による場合のポイント数	1 ポイント
0.0	0	4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生		
		土壌汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない		
3.5	5	4.3 公共交通機関の接近性		
3.0		4.3.1 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離	5 分圏内
4.0		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	取組数	2 項目
		1)、2)		
3.0	5	4.4 自然災害リスク対策		
		リスクの合計数は3種、2種については有効な防災対策を実施している	リスクの合計数	3 種類
12.5	20	合計		

5. 屋内環境

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合		
	5	5.1 昼光利用		
1.6		5.1.1 自然採光	開口率	別紙による %
1.0				
3.0		5.1.2 昼光利用設備	昼光利用設備	0 種類
		屋光利用設備がない		
3.0	5	5.2 自然換気性能		
		計算式参照	自然換気有効開口面積	別紙による m ²
4.0	5	5.3 眺望・視環境		
		事務室の天井高2.8m、かつ、十分な屋外の情報を得られる窓	天井高	2.7 m以上
8.6	15	合計		



環境性能の特徴

- ・省エネ性(エネルギー消費・節水)が比較的高い建物である。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・再生材利用への配慮がなされている
- ・自然災害リスクが比較的少ない。
- ・電力等の自給率向上や公共交通機関の接近性に対する対策が適切に行われており、屋内環境も比較的良好である。
- ・バリアフリーへの対策も取られている。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄